

式 辞

校門の桜が咲き誇る今日のこの佳き日に、PTA会長、廣中俊夫様をご来賓にお迎えし、多くの保護者の皆様とともに、平成27年度岐阜県立不破高等学校入学式を挙げていただけますことは、この上ない喜びです。ご参列いただきました皆様に、心からお礼申し上げます。ただ今入学を許可した107名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。在校生・教職員を代表して心から歓迎します。

また、保護者の皆様には、お子様が、入学式という晴れの舞台を迎えられ、感慨もひとしおのこととお察します。心からお祝いを申し上げます。

さて、新入生の皆さん、人生にはいくつかの節目があります。就職するとき、結婚するとき、子どもができるとき、など。そうした中で、高校入学は長い人生の最初の大きな節目と言えるでしょう。今日はその節目の日。これまでの自分をさらに成長させる大きなチャンスです。ぜひ、この節目、チャンスを利用して、新しい自分を発見してください。

そのためには、まず何かをやることです。やってみて、うまくいくことが一番いいこと。でも、次にいいことは、やってみて、失敗してしまうこと。そして、一番だめなことは、やろうとしないことです。失敗しても大丈夫です。あなたたちの周りには支援してくれる人がいます。わからないこと、困ったことがあれば何でも尋ねてください。何でも聞いてみることです。聞いてみることは決して恥ずかしいことではなく、前に進むための第一歩です。

不破高校での3年間で自分を変えてみてください。何かをすることで、変わっていく自分を実感してください。その姿を保護者のみなさんも私たち教職員も楽しみにしています。

この3月に卒業したみなさんの先輩の残した言葉を送ります。

中学の時は集中力がなく、正直、授業は面白くありませんでした。しかし、不破高校の授業は丁寧でわかりやすく大変面白かったので、もっと学びたいと思うようになりました。

集中力もついてきました。また、生徒会活動や部活動も一生懸命やりました。放課後残って学習したりして、学習時間を増す努力もしました。これからは、大学で将来の夢の実現を目指して努力していきます。

この先輩は、中学校までには経験したことがなかった生徒会活動にも積極的に取り組み、人前で堂々と話すこともできるようになりました。面白くなかった授業も集中力を高めることで楽しくなったのです。不破高校での3年間がこの先輩を大きく成長させたのです。3年間で「何かをできる」自分を実感して卒業したのです。新入生のみなさんも、この先輩と同様、様々な実践を通じて、新たな自分を発見し、自信が持てる人になることを切に期待し、式辞とします。

平成27年4月8日

岐阜県立不破高等学校長

堀 貴 雄